

鼓動と哀愁、興奮と静寂。風と香り、土と光。音楽の熱が土着のグルーブと高揚感を発する。

南米の色と香り満ちたデュオコンサート。



レオナルド・ブラーボ
(クラシックギター)

アルゼンチンが世界に誇るギタリスト。国立ロサリオ大学芸術学部音楽学科修了。ギタリスト、作曲家として数々の賞を受賞。'09年米国マーシャル大学よりジョン・エドワード特別芸術賞を受賞。'10年レオナルド・ブラーボタンゴ楽団を結成。CD "El entrevero" と "El alma en la raiz" はイギリスとフランスのギター誌で高く評価されている。'08年ギターを学ぶ人のための作品集 "五つの小品" をフォレストヒルエディションより、'13年タンゴ名曲編曲集を現代ギター社より出版。クラシックはもとより、アルゼンチンタンゴ、フォルクローレに造詣が深い。



滝沢昌之
(フルート)

大分県生まれ。東京都立駒場高等学校卒業。国立音楽大学にて石原利矩氏に師事。大学卒業後、デンマーク放送交響楽団首席奏者、T.L. クリスチャンセン氏に師事するためコペンハーゲンへ留学。東京コンセルヴァトワール尚美ディプロマコースにて野口龍氏に師事。'06年より福岡を中心に、ソロ、室内楽の演奏活動、後進の指導を行う。'07年より筑紫野カメロコンサート音楽ディレクター。'09年より毎年リサイタルを開催。'14年自著「フルート上達のための実践的ワークブック～入門から専門家までの、頭と体の基礎固め～」出版。

2018/ 6/7 (木)

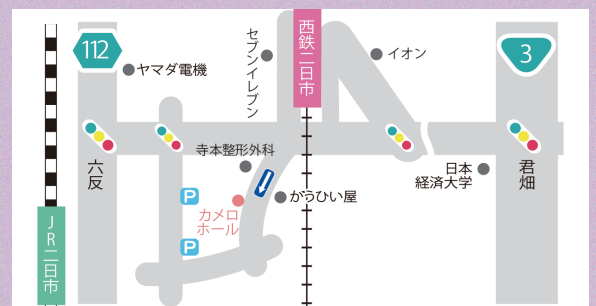
◎スタジオ・フリッツ・ナタン



※西鉄バス(59番、54番)「南山荘通り」バス停より徒歩約2分
※車の方は、最寄りのコインパークをご利用下さい

2018/ 6/10 (日)

◎カメロホール



※専用駐車場はありません。お車の方は近隣時間貸しをご利用ください。